

平成30年度各会計決算を認定

市議会9月定例会が9月5日に招集され、26日まで22日間の会期が開かれました。上程された議案は、教育委員会委員の任命や平成30年度一般会計および特別会計決算認定、令和元年度一般会計補正予算および各特別会計補正予算など23件と報告2件で、すべて原案のとおり可決・認定されました。

上程された主な議案

◇教育委員会委員の任命

11月30日で任期満了となる小松雅子氏（平沢）を引き続き委員に任命することに同意されました。



◇人権擁護委員候補者の推薦

12月31日で任期満了となる今野まり子氏（関）を引き続き候補者として推薦することに同意されました。この後、国に推薦し、法務大臣より委嘱されます。



◇「株式会社プレスステージ・インターナショナル」にかほ統合BPO（仮称）の立地計画

本年5月16日に着工しました企業立地用地造成工事は、天候に恵まれ、工程に大きな影響もなく進められ、8月末現在の進捗率は43%となっています。

しかし、8月21日にプレスステージ社の玉上社長が来訪され、建設資材や人材の調達など、ゼネコン各社との調整に大変苦慮していて、やむなく建物建築工事の着工時期を見直さざるを得ず、新拠点の開設時期は、当初計画より1年延期して、令和4年3月末までとする旨の説明を受けています。なお、5000席体制の建物の規模や、雇用計画は変更しないとのこと。

従業員の方々をはじめ、多くの方々が開設を心待ちにしているなか、延期は残念ではありませんが、昨今の建設業界の事情から、やむを得ないものと理解し、今後、新拠点の整備が着実に進むよう同社と情報交換しながら、できる限り支援していきます。

◇幼児教育・保育等の無償化

子ども・子育て支援法が改正され、本年10月から保育園や認定こども園などの、3歳児から5歳児の全世帯と3歳未満の住

◇令和元年度にかほ市一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算とも5億887万7千円を追加し、予算総額は135億4,971万円となりました。

【主な歳出】

- ・旧上郷小学校活用事業に係る施設整備費
 - 1、702万2千円
- ・子どもための教育・保育給付費負担金
 - 1、101万6千円
- ・すこやか子育て支援事業負担金（給食副食費全面無料化市独自助成分）
 - 868万1千円
- ・生活排水浄化施設解体工事費
 - 3、755万4千円
- ・小中学校空調設備設置事業費
 - 534万9千円
- ・南極白瀬ルート踏破支援補助金
 - 100万円
- ・屋内運動施設造成工事費
 - 6、500万円

民税非課税世帯の保育料が、無償化されることになりました。

一方、3歳児から5歳児の副食費については、これまで保育料に含まれていたものが、保護者の実費負担に変わります。

本市では、子育て支援の充実を図るため、保育料の無償化により市の負担が低減される財源を活用し、市単独事業により、3歳未満の住民税課税世帯の保育料と、実費負担となる3歳児から5歳児の副食費の無償化を行います。

◇象潟・前川地区の基盤整備事業

昨年度より、事業推進委員の方々と調査事業採択に向けて取り組んできましたが、本年6月10日付けで、秋田県知事より「県営農業農村整備調査計画希望地区」の決定通知を受けました。これにより、秋田県では、7月から調査計画事業に着手しています。

これを受けて、市では全受益者に対して事業の進捗状況と今後の進め方について通知し、事業への理解と協力体制の確立をお願いしています。

また、事業推進委員の方々にあては、5月に営農ビジョン等に関する勉強会を行ったほか、

主な市政報告

◇普通交付税

今年度の普通交付税は、52億9,354万9千円と算定され、前年度確定額に対し、1.1%、5,566万9千円の増となっています。

ただし、臨時財政対策債が前年度に比べ、1億124万4千円、23.4%減少していますので、実質的な交付額では4,557万5千円の減となっています。

◇若者の地元定着

学卒者の地元就職を促進するため、7月8日にハローワーク本荘、本荘由利雇用開発協会、由利本荘市、由利地域振興局との共催による「高卒求人情報説明会」を開催し、就職を希望する高校生331人と、企業55社が参加しています。

また、本市主催により、学生の夏休みに合わせて、高校生や保護者、大学生等を対象に市内企業の見学会を随時実施し、38人が参加しています。

8月9日には市内小学生を対象に「夏休み親子職場見学会」を開催し、小学生の親子53人が、市内7事業所で工場見学な

6月には先進地である大仙市協和の農事組合法人を視察し、組織の設立や運営について研修しました。8月9日には、農林水産課、土地改良区、事業推進委員が、整備区域の確定に向けた現地調査を行っています。今後、ほ場整備事業の完了後の営農体制の確立と営農構想の実現に向けて、研修と協議等を重ねることとしています。

◇ガス事業の民営化

ガス事業譲渡に関する市民説明会を、7月に仁賀保・金浦・象潟の3地域で開催しています。また、8月5日には、東海ガス株式会社の子会社として、現在のガス水道局所在地に本社を置く、にかほガス株式会社を設立しています。

今後は、水道事業の庁舎移転など、来年4月1日からの民営化に向けて準備を進めていきます。



どを実施し、さらに10月には、由利地域振興局との共催により、市内中学2年生を対象に「中学生と管内企業のふれあいPR事業」を予定しています。今後、小学校から高校まで切れ目なく、子どもたちが早い段階から地元企業を知る機会を創出することで、地元就職を促進します。

◇移住・Uターン促進事業

にかほ市移住・Uターン推進協議会では、7月27日に東京都内で開催された「新・農業人フェア」に、農林水産課の就農アドバイザーやJA職員と共に参加し、前回は大きく上回る10組の方から、就農等に関する個別相談を受けています。

翌28日には、同じく都内で開催された「東北U・Iターン大相談会」に、にかほ市観光協会職員と共に参加し、観光面から本市の認知度向上を図ると共に、4組の方と移住等に関する個別相談を行っています。

先般発表されました「住みよさランキング2019」で北海道・東北ブロック第1位と評価された、本市の住みよさを最大限にPRしながら、今後の移住促進に繋げて参ります。

主な教育行政報告

◇教育留学

8月23日から28日までの6日間、首都圏などの小学4年生から6年生4人ずつ合計12人が参加し、本市で自然活動体験と授業体験を行う教育留学を初めて実施しました。

参加者は、獅子ヶ鼻湿原や元滝伏流水などの散策を通して、本市の豊かな自然を満喫したり、日本海に咲く満開の花火に感激したりすると共に、金浦小学校では、みんなで考える授業や学校生活を体験し、本市の子どもたちと交流を深めることができました。

閉講式では、「とても楽しかったので、また来たい」、「友達がたくさんできた」などの感想を述べていて、この6日間で本市を大好きになってくれたと確信しています。この事業を通じて、今後、交流人口が拡大することを期待しています。